

因幡のくにの夢づくり

とのまる通信

第12号
2003・3・1

発行：国土交通省中国地方整備局 殿ダム工事事務所 鳥取県岩美郡国府町宮下1221 TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612 http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html

空で楽しむ

「早く雪が解け、空に行きたい、空に行きたい…」という人を発見。

「空」とは、とのまる通信

第2号で特集したことのある、

国府町上地の京ヶ原の通称で、

扇ノ山中腹に位置するここ京ヶ原は、

標高約600m付近の急傾斜地から、

小さな田んぼが

折り重なるように広がる、

県内でも希少な所。

そんな所へ大学の先生や生徒、役員職員、

はたまた一般の人たちが、

春を待ちわび、「空」を目指しているのだ。

いったい「空」に何があるのか、

取材してみた

地元上地の
下村美代子さん

「空」でこんなもん
作つとります！



扇ノ山！

京ヶ原用水路→

京ヶ原！
(通称「空」)

春には
学生と共に
「空」に行き、
いい汗流そうと
思っています！

鳥取大学農学部
吉田勲教授



「空」で作る酒米、
期待してます！

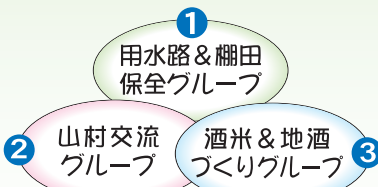
君司酒造株式会社
長戸浩さん



「空」に想いを馳せる集団

国府町上地の京ヶ原には、県内でも1、2を競うほど標高が高い所に田畑があり、眼下に浮かぶ雲を愛でながら農作業にはげめる絶好の所がある。この空に近い田畑は土・水・空気・景色どれをとっても良好な上、ここで作られたお米や野菜はおいしいという評判。

そんな通称「空」を舞台に、この度、国府町の有志の方々が、大学生やボランティアの人たちと共に、「空」にある用水路と棚田を保全しつつ、地域が生き生き輝く方策を考える「プロジェクト京ヶ原実行委員会」を立ち上げた。そのプロジェクトとは…。



京ヶ原プロジェクト

みんなの汗で「空」が輝く

プロジェクト京ヶ原の構想は、大きく分けて3つのグループに分かれる。

- ①用水路と棚田を保全するグループ
- ②上地集落の人たちと交流を楽しむグループ
- ③有機農法で酒米を作り、新ブランドの地酒を生み出すグループ

この3つのグループが、各々の活動を「空」で行い、それぞれみんなが楽しみつつ、ちょっと汗を流し、上流域の環境を守ろうじゃないか!というもの。作業の後にはここでしか味わえないおいしいジゲ料理を食べ、最終的には自らが作ったお酒を酌み交わせば最高!という構想だ。

また、この構想の新しい発想ポイントは、「作った地酒を販売し、その売り上げを用水路と棚田保全の資金に活用し、持続可能なシステムづくり」を行う点にある。そうすることで、高齢化が進んだ上地の棚田を若い人の手で保全できる仕組みができ、上流域の環境が守られ、ひいては下流域の環境も保全されるという訳だ。

市町村合併が 地域を見直すきっかけに!



国府町には
清らかな人と、場所が
よ〜けありますが、「空」は
特別美しいですよ!

宇倍神社宮司の
金田誠委員長

このプロジェクト発想のきっかけを、実行委員長の金田誠氏に伺った。「国府町は平成16年に鳥取市と合併する訳ですが、市町村合併の話が進めば進むほど、国府町の山、川、緑、文化、人情…これら一つひとつを思う気運が住民や役場から高まりましてね、これから観光の拠点となる殿ダム周辺や、上流を見つめ直した時、**上地には景観的にも素晴らしく、歴史もある用水路と棚田があるじゃないか!**という話になり、自然発生的に“PROJECT 京ヶ原 実行委員会”が立ち上がりました。」と語る。

そして構想を練るうちに、鳥取県や殿ダム工事業者他、様々な人から協力を得る事ができ、今春から実際にプロジェクトが動き出す事となった。

+01 PROJECT 用水路&棚田保全

「空」が大学の課外授業の地に!

「空」での農作業で、**最も苦勞するのは井出掃除。**

なぜなら、京ヶ原用水路は、扇ノ山の標高約800m地点の源流から山肌を這うように掘削された水路で、**長さはなんと、約4kmもあるのだ!**春は雪解けと共に石が落ち、2~3トンの石が道路や用水路をふさぐ事もしばしば。平均年令約60歳の農家7人でこの京ヶ原用水路を守るのは、限界に達している。

若い力で、歴史ある京ヶ原用水路を保全しましょう!



鳥取大学農学部吉田勲教授

そこで、頼もしい助っ人登場!今春、鳥取大学農学部生存環境学の吉田勲教授と同学部の2年生が課外授業として1日水路保全を行う事となった!

「近頃、中山間地では耕作放棄し、農地が荒れている所を多く見かけるようになりました。そういう所を見るにつけ、何かお役にしたいなと思ってい



水が入った時の京ヶ原用水路

ましたら、先輩にあたる木村肇国府町長からこの話を伺い、大学内で検討したところ、課外授業として取り組む事になりました。

また、このプロジェクトのいいところは、ボランティアが水路を保全するだけでな



井出掃除に励むボランティアの人たち。(平成11年に行なわれた作業の様子)

く、ここで作った酒米で地酒を作り、それを販売し、得た利益を用水路と棚田の保全にあてるといった、**継続可能なシステムづくり**を考えておられるところに共感しました。」と語る吉田教授。

この課外授業は**4月27日(日)**に行われる。一般の人でも大歓迎!あなたも一緒に天空の井出掃除をしてみませんか!

+02 PROJECT 山村交流

天空で開催するイベント

上地集落は鳥取駅から車で約40分、56世帯が穏やかに暮らす山村集落。高齢化が進んでいるが、地元のお母さん方は、手作りみそやトマトケチャップ、かき餅づくりなど、特産品開発に励む元気な方ばかり。

そんな上地では、毎年地元の有志が楽しいイベントを開催している。例えば…カエルがたくさん生息する上地ならではの企画で“カエリンピック”。カエルのレースや高飛び、幅跳びなど、上地は大きな笑いで包まれる。また、参加者と共に「空」で**無農薬野菜を育て収穫**したり、専門家を招き、学習しながら**化石探し**を行うなど、下流域の人達と交流を行ってきた。毎年このようなイベントを企画している地元の谷口徳五郎さんは、「今年も今まで通り、上地でのイベントを開催しようと思っていますが、このプロジェクト京ヶ原が立ち上がった

◀「空」で大根の収穫を楽しむ参加者たち。



事により参加者が増え、**山村の良さを多くの人に知ってもらいきっかけができる**のではと期待しています。そして、地域の人たちも様々な人たちと交流し、ますます地域が活き活きとしていけばいいな！と思っています。



ここでしかできん
楽しいイベント
考えとるけん、
みんな上がって
きんさい！

「空」の中でも最上地の田畑を耕す谷口徳五郎さん。

しかしながら、そのためには、地域の拠点が必要で、下流の人が寝泊まりできる滞在可能な交流施設が新しくできたらいいのですが…。せめて、今ある上地小学校の跡地を利用して拠点整備ができたと思っています！」と夢は膨らむばかりの様子だ。

+03 PROJECT 酒米&地酒づくり

会員も地域も地酒で活性！

プロジェクト京ケ原の最大の魅力の1つである“地酒づくり”は、創業約80年の歴史をもつ君司酒造株式会社担当。プロジェクト参加のきっかけは、雨滝の名水を利用した「うた

びと」という純米酒を製造販売している事から、「水」がご縁で声がかかり、参加協力する事となった。

「酒米は昼と夜の温度差が大きいほどデンプンが蓄積しやすく、いい酒米ができるんです。京ケ原は、高地にあるため温度差はあるし、その上空気・水がきれいですから、きついい酒米ができるのではないのでしょうか！」と語る君司酒造の長戸浩さん。

また「地元の酒米と名水で、うまい酒を作り、町が活性化してきた例もある事から、京ケ原も“酒づくり”を通じ、“町づくり”にも活気が出れば！」と期待を寄せておられる。



京ケ原の地酒を仕込むのはこの大きさのタンク！一升瓶にして約700本分の酒が造れる。

「今回酒米は、有機栽培に挑戦されると聞いています。抜群の環境で、こだわりのある酒米を作り、それを地元雨滝の名水で仕込む。これぞまさしく本物の地酒！我々も、酒づくりの原点にかえて、協力させてもらおうと思っています。」と語られた。

今秋、酒米のできを確認した後、会員を募集する予定。あなたもぜひ会員になり、**新酒を購入すること**



お酒は米と水の相性で味わいが変化するんです…

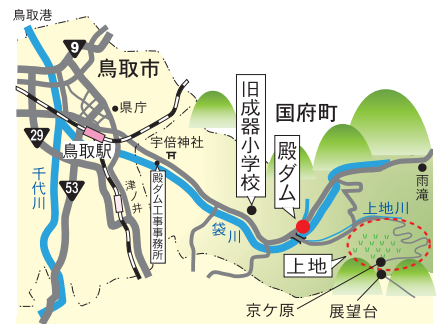
お酒に含まれるアミノ酸の量を測定中の長戸浩さん。

で、用水路&棚田保全に協力してみませんか！

みんなの汗一滴一滴が、おいしい酒のしずく、はたまた上流からの川の一滴となり、下流域に恩恵をもたらしてくれるこのプロジェクト。地域の宝を住民自らが掘り起こし、地区外の人と共に楽しみながら、宝を守っていくこの新しい試みはスタートしたばかりですが、地域の拠点づくりにつながればと期待しています！

プロジェクト京ケ原に関するお問い合わせ先

国府町役場 産業課 TEL:0857-39-0561



地域の拠点となりつつある旧成器小学校

昨年3月に統廃合され、廃校となった成器小学校を、昨年より殿ダム工事関係業者である大本組が利用させていただいておりますが、引き続き今年1月から、殿ダム工事事務所の監督員詰め所としても利用させていただく事になりました。

現在、旧成器小学校内では、画家福田典高さんの指導による絵画教室や、ほのぼのとした談話室があり、みんなが気軽に立ち寄れる場所として利用されています。



開所式にて看板を掲げる平木所長と木村国府町長



128年の歴史を刻んできた旧成器小学校

中国地方 子ども水フォーラム



水の惑星地球！世界の水はめぐりめぐってみんなの命の水となっているんだよ！大切に使おうね！

世界各地から参加した子どもたちは、壺の中に各自持ち寄った水と、水に対する思いを込めて「世界子どもフォーラム」会場へ送った。

2月15日(土)、広島市の中国新聞ホールにおいて「中国地方子ども水フォーラム」が開催され、中国地方の小・中学生と海外の子どもたちが参加し、身近な川での活動などについて発表を行いました。

鳥取県東部からは、鳥取大学附属小学校と智頭町ちびっ子河川パトロール隊が参加し、附属小の太田海人君が殿ダムについて調べたことを発表しました。

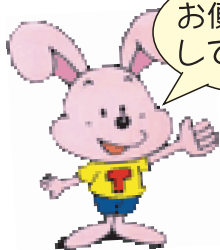
フォーラムに続いて行われた交流会では、海外からの参加者や中国地方各地から集まった子どもたちがゲームなどを通じて交流の輪をひろげました。

またこのフォーラムに参加した子どもたちが持ち寄った川の水は、ユニセフの壺にそそがれ、3月18日(火)から京都・大阪・滋賀で開催される「世界子ども水フォーラム」に届けられることになっています。

お名前は何？ 太田海人です。鳥取市のすぐ近くにできる殿ダムについて調べました！



鳥取県東部から参加した太田海人君と、鳥取大学附属小学校の皆さん。



お便りお待ちしております！

お問い合わせ & お便りのあて先

国土交通省 殿ダム工事事務所

とのまる通信編集部 宛

〒680-0151 鳥取県岩美郡国府町宮下1221

TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612

補正予算と工事のお知らせ

殿ダム工事事務所では平成14年度の補正予算が5億3千万円追加されることとなりました。これにより、現在進めている付け替え県道・町道等の工事をさらに促進させていく予定です。

工事中、周辺の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。



工事にご協力をお願いします。

殿ダム建設に伴う 移転者ご家族の今を紹介するコーナー

今回の元気がいな！

宇田川和美さん



新居前にて宇田川和美さん(左)と保江さん(右)

宇田川家は、お菓子やジュース、日用雑貨の販売や、宅急便の取り扱いもされていた拾石地区でただ一軒のお店で、地域の人にとっては、周辺に立ち寄った人々にとっても、拠点となる場所だった。そんな宇田川家も、殿ダム建設に伴い平成11年、国府町玉鉾に移転。移転を機にお店を閉められ、現在は夫婦2人で暮らしておられる。

「私で宇田川家は13代目になりますが、引越すのは初めてです。最初、全く知らない地に来る訳ですから、不安でしたが、地域の人も仲良くしてくださり、丸3年経った今、どうにか慣れ始めたところです」と和美さん。

お店を切り盛りされてきた保江さんは、「以前はお店をしていたという事と、家の前がバス停だったもので、人と会わんという日がなかったんです。ですけど、引越した当初、全く人と会わん日もあり、淋しかったです…」と語られた。

また、寒波が過ぎ去り小春日和だったこの日、「昔は春になったら、フキやゼンマイなど、野の物を家の周りからよ〜け採りようりましたが…今はできません…」と窓の外に目をやり、ポツリと語られたご夫婦の横顔が印象的だった。